

生涯学習推進事業と公民館整備事業

アナ： 「市長が語る 2017 三島」第10回の今日は、「生涯学習推進事業と公民館整備事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： まず「生涯学習推進事業」ということですが、どのような内容なのか教えてください。

市長： 生涯学習推進事業というと、すごく壮大で難しそうな事業に聞こえますが、日頃から市民生涯学習センターや公民館、また地域で生涯学習の活動を行っている団体の皆さんが、学習の成果を広く発表する場であるとともに、学習に励んでいる皆さんがお互いに啓発し合ったり交流したりする場である「生涯学習まつり」を中心とした事業のことを言います。以前は「生涯学習フェスティバル」という名称で、市の主催で実施しておりましたが、現在は名称を変更し、それまでフェスティバルへの参加者であった皆さんが実行委員会を組織して、自らイベントを実施するように開催方法を変えて現在の形となりました。単なる参加型のイベントであったものを、自分達が企画・運営するという過程も生涯学習の一部であるという考え方を持ったイベントに形を変えて開催されるようになっていっています。

アナ： この生涯学習まつりは、いつ頃行われ、どんな催し物があるのでしょうか。

市長： 開催日は例年、2月の最初の土日を予定しており、開催中は約4,000人の来場者があります。オープニングセレモニーでは、三島市の生涯学習の発展のために長年にわたり功績があった個人や団体を、生涯学習功労者として、市から表彰させていただいております。セレモニーが終わった後に生涯学習ボランティアによる合唱やハンドベル演奏、女性学級や婦人会による創作ダンス・民謡・コーラスなどの発表が行われ、「まつり」が盛り上がってまいります。

アナ： なるほど、なかなか楽しそうな発表ですね。展示などもあるのでしょうか。

市長： 展示の部では、各団体が1年間活動した成果として、いろいろな作品を皆さんに見て楽しんでいただけるよう、工夫を凝らした展示がされます。書道・写真・手芸・生け花・和裁・洋裁などの素晴らしい出来映えを是非、ご覧いただけたらと思います。

アナ： 今年、生涯学習センターが開館20周年ということですが、何か特別な催しはあるのですか。

市長： 平成29年度は開館から20周年の節目を迎えるため、記念事業として現在、絵本作家としても大変に注目を集めているお笑い芸人のキングコングの西野亮廣（にしのみきひろ）さんによる講演会と、西野さんがクラウドファンディングという一般の人から出資を募る方法で世界初の分業制により制作した絵本「えんと

つの町ペル」の原画展の開催を予定しています。

西野さんは芸人として活躍されていた最中に、突然絵本作家としての活動を始め、世間を驚かせ、その柔軟な発想力と機敏な行動力で、常に新しいチャレンジを続けられています。是非、ご家族そろってご来場いただき、特に、三島の子どもさん達には原画を間近に見て、独特の世界観と素晴らしさを、感じていただけたらと思っています。

アナ： 作品の映画化も進んでいると聞いていますし、とても楽しみな企画ですね。

次に、公民館整備事業ということですが、今年はどのような整備や補修をされる予定がありますか。

市長： 市立の4つの公民館では、地域の皆様が快適で安全に施設をご利用いただけるよう適切な維持・管理に努めるとともに、随時、施設の整備や補修を行っております。本年度予定している主な整備といたしまして、坂公民館では屋上防水修繕を予定しており、また、中郷文化プラザの施設内を改修し、親子のふれあいや子育て中の保護者同士の交流の場としてご活用いただけるスペースの設置を計画しております。

また、市立公民館では、子どもの豊かな情操を育むことを目的に、児童センターから児童厚生員が出向き親子のふれあいを図る「すくすく広場事業」をこれまでも実施しておりますが、さらに一歩進め、本町子育て支援センターとも連携を図りながら、地域で子育て世代を応援する拠点となるよう運営していきたいと思っています。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。